



平成 28 年 6 月 7 日
福島河川国道事務所

阿武隈川上流渇水情報連絡会幹事会を開催します

阿武隈川水系においては、例年より降雨量が少ないことに伴い、阿武隈川流域の河川流量が減少し、渇水傾向にあります。

今後の気象状況によっては、利水者への影響が懸念されることから、渇水情報連絡会幹事会を開催し、関係機関相互の情報共有、情報交換を行い、引き続き、河川流況を注視します。

■ 開催日時 : 平成 28 年 6 月 9 日 (木) 午後 4 時から

開催場所 : 福島河川国道事務所 3 階 大会議室

■ 「阿武隈川上流渇水情報連絡会幹事会」について

○目的 : 河川管理者、各利水者の関係機関が渇水時において、水利使用の状況等について積極的に情報交換を行い、円滑な水利用及び河川環境の保全に資することを目的としています。

○構成機関 : ※別表 1 のとおり

■ 議題

1. 阿武隈川の流況について

2. 多目的ダムの状況について

①三春ダム(国)、②摺上川ダム(国)、③堀川ダム(県)

3. 農業用ダム(県)の状況について

岳ダム、千五沢ダム、西郷ダムほか

4. 気象の状況について

5. その他

<<発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、郡山市記者クラブ>>

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

福島県福島市黒岩字榎平 36 TEL 024 (546) 4331 (代)

河川管理課長 平 館 淳一 (内線 331)

保全対策官 鈴木 寛 (内線 305)

【概況説明】

流量観測の基準地点である阿久津（郡山市）、福島（福島市）、館矢間（丸森町）観測所において、5ヶ年平均渇水流量に迫る状況が続いており、直近の週間天気予報を見ても、この渇水状況を改善するほどの降雨が予想されていないことから、今後も渇水傾向が継続すると想定されます。

よって、今後も河川流況の早期回復が見込まれないことから、この幹事会を開催するものです。

■阿武隈川の流況（6月7日 午前9時現在）

○阿久津観測所（郡山市大字阿久津地内）

- ①5ヶ年平均渇水流量 19.16 m³/s
- ②基準流量（正常流量） 13.60 m³/s
- ③現在の流量 18.27 m³/s

○福島観測所（福島市杉妻地内）

- ①5ヶ年平均渇水流量 40.45 m³/s
- ②基準流量（正常流量） 21.30 m³/s
- ③現在の流量 38.51 m³/s

○館矢間観測所（宮城県伊具郡丸森町館矢間地内）

- ①5ヶ年平均渇水流量 55.89 m³/s
- ②基準流量（正常流量） 40.00 m³/s
- ③現在の流量 59.34 m³/s

※ ①5ヶ年平均渇水流量

平成22年から平成26年までの過去5ヶ年の平均渇水流量です。

②基準流量

渇水対策支部設置の基準となる流量であり、福島河川国道事務所管内にある上記3箇所の基準観測地点では、正常流量を基準としています。

③正常流量

正常流量（河川の流水の正常な機能を維持するために必要な流量）は、魚類の生息状況、河川環境、水質の保全等、河川の正常な機能の維持に必要な流量です。

別表1

役職	機関名及び官職
幹事長	東北地方整備局 福島河川国道事務所副所長(河川)
幹事	東北農政局 阿武隈土地改良調査管理事務所企画課長
幹事	仙台管区気象台 福島地方気象台観測予報管理官
幹事	仙台管区気象台 福島地方気象台防災管理官
幹事	東北地方整備局 福島河川国道事務所調査第一課長
幹事	東北地方整備局 福島河川国道事務所河川管理課長
幹事	東北地方整備局 三春ダム管理所管理係長
幹事	東北地方整備局 摺上川ダム管理所管理係長
幹事	福島県 企画調整部土地・水調整課主査
幹事	福島県 生活環境部水・大気環境課専門薬剤技師
幹事	福島県 保健福祉部食品生活衛生課主査
幹事	福島県 商工労働部企業立地課主事
幹事	福島県 農林水産部農地管理課主任主査
幹事	福島県 農林水産部農村基盤整備課主任主査
幹事	福島県 土木部河川計画課主事
幹事	福島県 土木部河川整備課主任主査
幹事	福島市 市民安全部危機管理室次長
幹事	福島市 農政部農業振興室次長
幹事	福島市 建設部河川課長
幹事	郡山市 政策開発部政策開発課長
幹事	郡山市 農林部農地課長
幹事	郡山市 建設交通部河川課長
幹事	郡山市 水道局浄水課長
幹事	須賀川市 上下水道部水道施設課長
幹事	本宮市 建設部上下水道課長
幹事	石川町 水道事業所庶務係長
幹事	川俣町 建設水道課水道室長
幹事	福島地方水道用水供給企業団 次長兼施設管理課長
幹事	東北電力株式会社 福島支店電力ネットワーク本部土木グループ主査